



### 義援金の配分を早急に!!

予算の執行及び各種支援制度の動向について

議員

「孤独死の前には孤独生がある。孤独死をなくすには孤独生をなくせばいい。」と、ある講師の先生がおっしゃった。集会施設をつくることで、地域コミュニティも生まれ、孤独生をなくす一助にもなると思う。その意味からも集会施設を早めに整備するため、200万円くらいまでは全額補助できないか。

市長

地区公民館は地域の方の所有なので、私は3分の2の補助というのは行政としては妥当な線かとも考えている。

議員

次に、義援金の配分について伺う。

保健福祉部長

第1次配分として、4558件、総額3億6860万円の配分を行っている。

議員

現在、いくら残っているか。

社会福祉課長

約4億5756万円である。

議員

特に4月には入学式等がありお金がかかる。できれば今月いっぱいくらいに市の義援金だけでも配分してもらいたい。

社会福祉課長

早急に準備を進めたいと事務局では思っている。

議員

県からの義援金はどのようになっているか。

社会福祉課長

2次配分については、県も3月末には配分の検討に入ると聞いている。

議員

一緒にというのが望ましいが、常総市だけでも先行して早めに配分をして、県に対しても早くやってくれるように要望している。ただきたい。



寺田 洋議員



問 答 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答

### 認めたミスの謝罪と補償を確実に!!



豪雨水害について



議員

27年12月の一般質問で、市長は、上三坂への避難指示発令ミスを認め、また責任を感じており、責任の次は謝罪、謝罪の次は補償であるとも認めた。その後、どのような検討がされたか。

市長

賠償に当たっては、原因がどこにあったか、違法性があるかどうか、そこが明確になった時点で問われてくると考えている。現在、第三者を中心とした検証委員会の検証結果が出るのを待っているところである。

議員

若宮戸はしっかりと消防団員や職員が張りついて越水前に避難が終わっていた。しかし、その下流部については、越水も予想されるというホットラインが入っていたのに、なぜ若宮戸と同じ手だてをしなかったのか。

市長

若宮戸はもともと堤防がない地区であり予測もできたが、ほかの地区についてはどこで切れるかはわからなかった。

議員

今回の災害時における各地区の自助共助の事例を報告する。根新田では区長の名前で災害対策本部が立ち上がり、「ただいま、おにぎりが届きました。」とか「ボランティアが必要な方は対策本部に来てください。」といったメールがどんどん来た。各住民が年間100円を負担して、区長から住民全員にメールが来るというものである。

市民生活部長

具体的にメールを使って情報発信したということまでは聞いていなかった。

議員

これはそんなにお金がかからないので、ぜひ参考にして取り入れていただけたらと思う。

中村 博美議員

